

2021 new year exhibition

*small tour*

2021.1.9 sat. – 24 sun.

12:00 — 19:00 (最終日 17:00 迄) \* mon. tues close

painting / wood cut prints / monotype / photo  
glass / engraving / fresco / needlework

## 参加作家

門馬達雄 *Tatsuo Monma*

川村紗耶佳 *Sayaka Kawamura*

平埜佐絵子 *Saeko Hirano*

渡辺伸 *Shin Watanabe*

黒須信雄 *Nobuo Kurosu*

藤田修 *Osamu Fujita*

佐藤春菜 *Haruna Sato*

山神悦子 *Etsuko Yamagami*

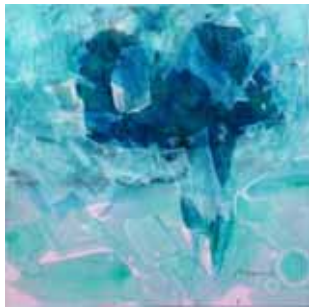
花村泰江 *Yasue Hanamura*

岡田浩志 *Hiroshi Okada*

好宮佐知子 *Sachiko Yoshimiya*

酒井稚恵 *Chie Sakai*

石川あすか *Asuka Ishikawa*



「もりになりたかったき」  
リトグラフィック・パステル  
によるモノタイプ

30 x 30cm

2020 年

木のような風景のような抽象的な絵を描いています。

リトグラフ版画工房で働いてきた経験から、そのリトグラフィックの美しさ透明性を伝えたくもあり、この画材で作品を作っています。その多くはリトグラフィックによるモノタイプ版画です。モノタイプ版画とは1点物の版画、1枚しか刷れない版画です。様々なやり方がありますが、私はプレス機の刷り台の上に直接好みの色のインクで、描き、拭き取ったりして、気に入ったら紙を載せて刷り取ります。刷り取ったものが物足りなければ同じ行為を繰り返して色を重ねていきます。何度も刷れるように版を作らないのです。版画に含まれる版表現ですが普通の絵画に極めて近い制作方法となります。けれども普通に描いたものとは明らかに違う表現が得られます。



「だいちになるき」  
リトグラフィック・パステル  
によるモノタイプ

30 x 30cm

2020 年

美しい風景や木々、日没後のマジックアワーなどを眺めて思い巡らすのは様々な方々との思い出です。出来上がった作品を眺めても、やはり誰かのことを想うのです。

本物の風景の美しさには敵わないけれど、絵画ならではの表現で観てくださる方にささやかなマジックをかけられたらと思います。

#### 【略歴】

1966 年川崎に生まれる。

1988 年お茶の水美術専門学校絵画科研究生終了後、日本で初めての本格的なフランス式リトグラフ版画工房アトリエMMG入社。

以後 30 数年、リトグラフ・モノタイプを中心にした版画制作で猪熊弦一郎、瀬本容子、難波田龍起、野見山暁治、柚木沙弥郎など数多くのアーティストとの協同作業に携わる。

2007 年アトリエMMG解散により、現在フリーランスの版表現印刷者。

2008 年～2012 年・金沢美術工芸大学リトグラフ非常勤講師。自身の創作も発表している。



「りずむになるき」  
リトグラフィック・パステル  
によるモノタイプ

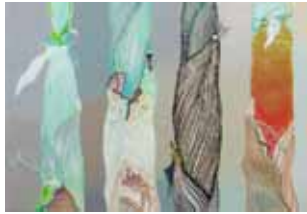
30 x 30cm

2020 年

## 平埜佐絵子 Saeko Hirano



「暮れ a ending」  
oil on canvas  
190×273 mm (P3)  
2020年



「明け a beginning」  
oil on canvas  
190×273 mm (P3)  
2020年

2020年のバタバタを横目に自分に出来ることを探しましたが、特に見つかられず、いつもより心を落ち着かせて絵を描くことを心がけました。幸い、植物達には何の影響もなく、いつもにも増して良い形と良い色で成長を見せてくれています。それはとても力強く、しなやかで、美しいものでした。

### 【略歴】

1975 北海道小樽市出身  
2001 筑波大学大学院修士課程芸術研究科美術専攻洋画分野 修了  
現在 東京都八王子市在住

### 主な展覧会

2019 「深い森」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2017 「いつかの死」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2007 「Notice」 マキイマサルファインアーツ (東京)  
「Drawings」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2005 「平埜佐絵子 個展」 0 ギャラリー (東京)  
2004 「Apperite Trip」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2002 「Apperite Trip」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2001 「平埜佐絵子展」 Gallery 銀座フォレスト (東京)  
「平埜佐絵子展」 0 ギャラリー (東京)

### 主なグループ展

2020 「扇子 2020」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
「FACE 展 2020 損保ジャパン日本興亜美術賞展」 (東京)  
2019 「扇子と豆皿」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
「鈴木吾郎と新鋭作家展」 市立小樽美術館 (北海道)  
「開いてみるアート・しまうアート OPEN & STOW - 絵巻 - 」  
Gallery 慳 SATORU (東京)  
2017 「Little Christmas / 旅する」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2015 「Thoughts through Drawings」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2008 「レイヤードランドスケープ makii selection 2×4」  
マキイマサルファインアーツ (東京)  
2007 「HORS LIGNE」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2006 「トーキョーワンダーシード」 トーキョーワンダーサイト (東京)  
2005 「定点 2005 それぞれの世界」 Gallery 慳 SATORU (東京)  
2003 「トーキョーワンダーサイト 0号展」  
トーキョーワンダーサイト (東京)  
2002 「AG SELECTION 展」 FREE SPACE ART GUILD (東京)  
2000 「第3回熊谷守一大賞展」 岐阜県美術館 (岐阜)  
1997 「第65回独立展」 (2001年まで出品) 東京都美術館 (東京)

## 渡辺伸 *Shin Watanab*



### 明けない夜はない

10年程前に訪ねた宮古島のツウリバー。  
夕立ち後の雲から差し込む光が印象的でした。  
ターナーの光を模しオーソドックスに描く。

「 - 車窓 - ツウリバーの  
夕日、宮古島にて」  
油彩 綿布  
30×30×4cm  
2014 - 2020年



「晴耕雨読」  
油彩 キャンバス  
27.3×22.0cm  
2020年

のんびりと過ごし、好きな絵を描きつづけよう... (願望です)

### 【略歴】

1961 京都に生まれる  
1984 蔵野美術大学造形学部油絵科卒業

### 主な展覧会

2010 情景-痕跡 (白矢アートスペース 小平)  
2012 情景 2012-版画展 (Gallery 福果 神保町)  
情景 2012 写想 - 象想 (Gallery 惺 SATORU /  
Bellbet 吉祥寺 showroom、吉祥寺)  
2013 絵画の在処 (白矢アートスペース 東京)  
2014 情景-南の島 (柳沢画廊 浦和)  
2015 どこかでお会いしましたね (うらわ美術館 ~ '17 埼玉会館  
'18、'19 )  
2016 ing NOW - (うらわ美術館 埼玉 ~ '19)  
2017 旅する (Gallery 惺 SATORU 吉祥寺)  
2018 埼玉ゆかりの作家たち (柳沢画廊 浦和)  
2019 OPEN & STOW - 絵巻 - (Gallery 惺 SATORU 吉祥寺)  
passport / note (Gallery 福果 神保町)  
All Right - 往来 - (Gallery 惺 SATORU、吉祥寺)  
2020 「YEN」 Taylor Galleries (ダブリン・アイルランド)

真木画廊(神田)、藍画廊(銀座)、Gallery K(銀座)、ギャラリー山口(銀座)、  
柳沢画廊(浦和)、Gallery 惺 SATORU(吉祥寺)等で個展



「蛇菩薩 No.11」  
アクリル、キャンバス  
33.3×22.0cm  
2020年



「於母蛇流 No.11」  
アクリル、キャンバス  
27.3×22.0cm  
2020年

絵画は存在論的遡行意志に拠る存在形式転換としての顕現である。その意味で、画家に於て絵画は死に近い。死は存在しない。絵画も存在しない。絵画が存在するとは存在しないに於てのみである。一方で、存在的現象としての絵画は現に存在する。従って、絵画を認知するには形象を必要とするが、表現ならざる顕現としてのそれは、虚虚対峙の彼岸に出現即消滅として望見されるに過ぎない。それを現実裡に留めるのは根源形象の残影である。

無論、根源に於て未だ形象は無い。ならば、それ自體が例えば地平線の如く決して到達し得ないものであって、到達し得ぬ地平線への歩み、その不可能的働きかけこそが根源形象の実質とも云えよう。

根源形象とは夢見られることのない夢見である。  
2020年11月9日記（2020.12個展コメントより）

#### 【略歴】

1962 東京生まれ  
1988 多摩美術大学絵画科油画専攻卒業

#### 個展

1989 なびす画廊（東京）(90,92,94,98,99,00,02,03,05,07,09,11,13,15)  
1991 Cafe アトリエ（東京）(92,93)  
Gallery+1（東京）  
1992 西瓜糖（東京）(99)  
1993 ルナミ画廊（東京）  
1995 ギャラリーU（東京）  
1996 藍画廊（東京）(97,06)  
2017 ギャラリー水・土・木（東京）  
ギャラリー宮脇（京都）(19)  
2018 Gallery 慳 SATORU（東京）(20)

#### 近年の主なグループ展

2010 カイガノカイキ（足利市立美術館）  
THE LIBRARY ASHIKAGA（足利市立美術館）  
2013 新収蔵作品展「現代の絵画と彫刻」（足利市立美術館）  
版画天国（なびす画廊）(14,16,20)  
美術館の本棚（足利市立美術館 特別展示室）  
2014 知ってる形／知らない形＋本（うらわ美術館）  
スサノヲの到来 いのち、いかり、いのり（～2015年巡回／足利市立美術館、DIC 川村記念美術館、北海道立函館美術館、山寺芭蕉記念館、渋谷区立松濤美術館）  
2016 連画のいざない（足利市立美術館 特別展示室）  
2017 版画、いろいろ 博物館のコレクション 明治>>>現在（那須野が原博物館）  
言絵言 ことええこと（柴田悦子画廊）(19,20)  
2018 第5回新朦朧主義（北京清華大学美術院美術館）  
2020 「象、撫でる？」（足利市立美術館 特別展示室）

#### コレクション

足利市立美術館 うらわ美術館 栃木県立美術館 那須野が原博物館 他



「Exodus・01-05」

290×205mm 各 ed.1

油彩によるモノタイプ  
(01,02 は雁皮刷り)

2020 年

銅版を用いた油彩絵具によるモノタイププリントです。エディションのある版画作品と共に、モノクロームのモノタイププリント「Genesis」の次の作品展開として新シリーズ「Exodus」の5点です。銅版の上に油彩絵具と銅版画インクでイメージを描き、エッチングプレス機で刷り上げた一点ものです。

【略歴】2018 年以降の主な展覧会

- 2018 02.03-03.04(Monochrome gallery RAIN/東京)  
02.10-02.24(アートギャラリーミューズ/前橋)  
12.22-01.13 (Gallery 惺 SATORU/東京)
- 2019 05.11-06.09(Monochrome gallery RAIN/東京)  
10.11-10.26 (ギャラリーエ・アンドウ/東京)
- 2020 08.25-09.13 (岩崎ミュージアム/横浜)  
08.29-09.12 (アトリエ K/横浜)

グループ展

- 2018 横須賀のアーティスト(横須賀美術館)  
版の領域(ギャラリー フ・ルート/横須賀)  
COLLECTION PRINT&DRAWING( Gallery 惺 SATORU/東京)  
日仏交流版画展 (Cité Internationale des Arts de Paris)  
第13回現代アートうちわ展(ギャラリー白川/京都)  
OUTOTU 版画展(東京都美術館)  
秋の図書館(岩崎ミュージアム/横浜) コレクション展(山梨県立美術館)  
代官山フォトフェア 2018(代官山ヒルサイドフォーラム)  
銅版画工房展(Garage/横須賀)
- 2019 SPRING SESSION 2019 (Monochrome Gallery RAIN/東京)  
版の領域 II(ギャラリー フ・ルート/横須賀)  
横須賀の風景(横須賀美術館)  
Another day in the park ( Gallery 惺 SATORU/東京)  
「ロベール・ドマシーなどのピクトリアリズム」展 (Art Gallery M84/東京)  
第14回現代アートうちわ展 (ギャラリー白川 /京都)  
ばれたん展(府中市美術館)  
見る 学ぶ 知る 作る 版画ワンダーワールド(横須賀美術館)  
SQUARE 展(ギャラリーエ・アンドウ)  
水の図書館/オンライン(WATERMARK arts & crafts )  
第15回現代アートうちわ展 (ギャラリー白川 /京都)  
もうひとつの日本美術史(福島県立美術館、和歌山県立近代美術館)

## 佐藤春菜 Haruna Sato



「小さな写真展」  
ゼラチンシルバープリント  
17×26mm  
2020年



「小さな写真展」  
ゼラチンシルバープリント  
9×13mm  
2020年



「小さな写真展」  
(箱と中の写真)  
ゼラチンシルバープリント  
小：9×13mm  
大：17×26mm  
2020年

\*ベタ焼きではなく、引き伸ばし機を使って、ネガより縮めてパライタ印画紙にプリント。

オリジナルプリントを見ていただかないと伝わりづらい作品なので、プリントをじっくり見ていただけたら嬉しいです。  
モノクロフィルムで撮影した写真を、引き伸ばし機を使ってネガより「縮めて」プリントする矛盾の中に、面白い入り口がありました。見ることは何か。近づいたり、ルーペを使って、どうぞご覧ください。

### 【略歴】

1986 神奈川県生まれ  
2006 東京ビジュアルアーツ写真学科卒業  
メンバーとして参加している自主ギャラリー「ギャラリー街道」で年数回個展を開催しながら東京を拠点に活動。国内外の写真イベントにも出展。

### 個展

- 2020 12月 「小さな写真展」ギャラリー街道（東京都・中野）  
6月 「旅がしたい」ギャラリー街道（東京都・中野）  
3月 「壁紙になりたい」新宿ゴールデン街「こどじ」（東京都・新宿）
- 2019 12月 「てんてんと」ギャラリー街道（東京都・中野）  
2月 「little by little#05」ギャラリー街道（東京都・中野）
- 2018 12月 「little by little#04」ギャラリー街道（東京都・中野）  
10月 「little by little#03」ギャラリー街道（東京都・中野）  
8月 「little by little#02」ギャラリー街道（東京都・中野）  
6月 「little by little#01」ギャラリー街道（東京都・中野）  
2月 「Tschüss チュース」ギャラリー街道（東京都・中野）
- 2017 9月 「2日間じゃあ、モッタイナイ」ギャラリー街道（東京都・中野）  
4月 「いちのひ/2015年5月-2017年3月」ギャラリー街道（東京都・中野）  
2月 「日々益々！携帯日記/2016年1月1日-2017年2月15日」新宿ゴールデン街「こどじ」（東京都・新宿）
- 2016 10月 「ぐるぐる と たんたん」ギャラリー街道（東京都・中野）  
4月 「Tokyo Action!3」新宿ゴールデン街「こどじ」（東京都・新宿）
- 2015 12月 「いちのひ/2013年4月-2015年4月」CROSSROAD GALLERY（東京都・新宿）
- 2014 9月 「いちのひ/2013年5月-2014年2月」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
8月 「Tokyo Action!2」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
5月 「Tokyo Action!」パー鳥渡（東京都・高円寺）  
4月 「Short Stories」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
1月 「急度！フランクフルト三日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）
- 2013 7月 「Equal」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）
- 2012 12月 「急度！バンコク三日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
7月 「いちのひ/2012年1月-6月」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
2月 「いちのひ/2011年8月-12月」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）
- 2011 9月 「いちのひ/2011年2月-7月」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
6月 「急度！長崎二日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）
- 2010年2月～2011年1月 GALLERY街道りぼん（東京都・南阿佐ヶ谷）にて隔月で連続展を開催
- 2009 「急度！ミラノ三日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
「急度！ソウル二日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）
- 2008 「急度！グアム三日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）  
「急度！上海二日間の旅」ギャラリー街道（東京都・南阿佐ヶ谷）
- 2007 「華裏」LOTUS ROOT GALLERY（東京都・新宿）  
主なグループ展・アートフェア・ブックフェア
- 2019 “KAIDO Exhibition” WALL gallery (Ulsan, Korea)  
2018 “Fotofever 2018” (Paris, France)  
“Kaido Magazine exhibition” Gallery42 (Ulsan, Korea)
- 2017 “Munemitsu Komatsu+Haruna Sato exhibition” Atelier für Photographie (Berlin, Germany)  
“Tokyo Now” Espace des Coutures Saint Gervais (Paris, France)
- 2016 “COSMOS ARLES BOOKS” (Arles, France)
- 2015 “Polycopies” (Paris, France)
- 2013 “Kassel Fotobook festival” (Kassel, Germany)  
GRAFvol.6出版記念展「20130401」gallery福果（東京都・神保町）

### 出版

2018 「Tschüss」Kaido Books / 2015 「いちのひ vol.5」Kaido Books  
「ハブニング」Kaido Books / 2013 「いちのひ vol.4」私家版 / 2012 「いちのひ vol.3」私家版 / 「いちのひ vol.2」私家版 / 2011 「いちのひ vol.1」私家版



## 山神悦子 Etsuko Yamagami



「GEOLOGY -letter from the earth-」

木版画 6 シートセット

11.0×16.0cm/16.0×11.0cm

ed.5 2020 年



旅先で印象に残った土地の様子をもとに木版画を作りました。1と2は山梨県の昇仙峡と兜山、3は山口県の秋芳洞、4と6は大分県の伽藍岳と国東半島、5は埼玉県の長瀨です。いずれもその成り立ちを大地が語りかけてくるような風景なので、「地質学」という題に「地球からの手紙」という副題を付けました。

2020 年 6 月 山神悦子



### 【略歴】

1950 香川県生まれ

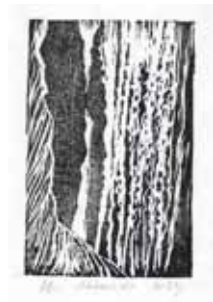
1973 お茶の水女子大学家政学部家庭経営学科卒業

1974-76 夫の赴任に伴ってアメリカのシアトルに滞在

1981-83 同じく、スイスのジュネーヴに滞在

1985-88 大石洋次郎氏(武蔵野美術大学講師)に油彩を、86-88 黒田克正氏(同)にクロッキーを習う

1989 G アートギャラリー(東京 銀座)で初個展以来、個展、グループ展で発表している



### 主な発表と活動

1995 95 水戸アニュアル 絵画考 器と物差し(水戸芸術館 茨城)

1996 かわさき IBM 市民文化ギャラリー(神奈川)

1998 マケドニアで滞在制作 / 2000 ブルガリアで滞在制作

1999-2020 工房親(東京 恵比寿)、Gallery 惺 STORU(東京 吉祥寺)、Shonandai MY Gallery(東京 六本木)、iGalleryDC(山梨県笛吹市)等の企画による個展、グループ展多数

2001 第2回資生堂 ADSP 選出

2003 サン・モール版画ビエンナーレ(フランス)入選

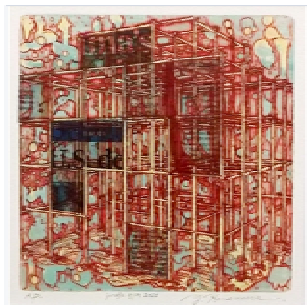
2008 ART OSAKA 堂島ホテル ギャラリー工房“親”の部屋(大阪)

2012 Slick contemporary art fair Gallery 惺 SATORU のブース(ベルギー)

2018 Affordable Art Fair Hong Kong 2018 Shonandai Gallery のブース(香港)

作品の收藏先として、あらや滔々庵(石川県)、ポールヘイスティングス法律事務所東京オフィス他





「jungle gym 2020」  
銅版画（ヘイター法）

18.2×17.7cm

ed.10

2020年

最近、あまり見かけなくかった小学校の片隅に佇むジャングルジム。かつては休み時間になるとスズなりに児童が群がってきたのだが…。時代と共に賑わいは衰え、今年は特に！蜜を避けねばならぬコロナ禍の世の中をじっと見守る。

【略歴】

1991 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了

1995 ブラウンシュバイク芸術大学(ドイツ)

近年の主な個展：

2014 「花村泰江展」空間舎 / 八丈島

「花村泰江展 島ぐらし町ぐらし」伊勢丹浦和店 / 埼玉  
(produced by ギャラリー上原)

2015 「花村泰江展」仏蘭西厨房かえりやま / 東京  
(produced by Gallery 工房親)

2017 「花村泰江展 lively」Gallery 惺 SATORU / 東京

近年の主なグループ展：

2012 「絵画を考える」Gallery 工房親 / 東京

2013 「さまざまな版画表現展」Gallery 惺 SATORU / 東京

2014 「春韻」Gallery 工房親 / 東京

「30voices,30variations」Gallery 工房親 / 東京

2015 「December Tune それぞれのカタチ」Gallery 工房親 / 東京

「日本版画協会多摩展」小金井市民交流ギャラリー / 東京

2016 「Life wite Dog」Gallery 惺 SATORU / 東京

「さまざまな形、さまざまな色」Gallery 工房親 / 東京

「Compilation2016」Gallery 惺 SATORU / 東京

2019 「扇子と豆皿」Gallery 惺 SATORU / 東京

Awards

2006 資生堂 ADSP 入選

## 岡田浩志 Hiroshi Okada



「高尾の森にて  
(S2-f1.4\_'20,7,5)」  
カリタイプ・プリント、  
セレン調色、アルシュ紙  
129×195mm 2021年  
アンティーク額、低反射・紫  
外線遮断アクリル



「残花 (Pent-R50\_'20,2)」  
カリタイプ・プリント、  
金調色、アルシュ紙  
68×45mm  
ed.3 2021年  
額仕様：ガラス



「草茂み (Ikonta\_'20,1)」  
カリタイプ・プリント、  
セレン調色、アルシュ紙  
126×126mm  
ed.3 2021年  
アンティーク額変形、低反  
射・紫外線遮断アクリル

現像した画像を見ると軽い高揚感を覚えて、確かにこの風景を見たことを思い出します。

ただ写真画像はフィルムや旧式レンズの特性、現像行程など様々な要因が作用して作られるもので、まして風景は刻々と変化し続けます。

それでもほんの束の間、差し込んだ光が、木々の間に充満していました。

### 略歴

- 1962 京都生まれ
- 1987 東京芸術大学 絵画科油画専攻 卒業
- 1989 同 大学院修士課程 壁画研究分野 修了
- 1988～1992 壁画制作（東京、大阪、福岡、千葉、兵庫、静岡）

### 個展

- 2012 Life with Art アートのある暮らし/AIDEC (東京)/企画:plan i
- 2008 脇田美術館 (長野) / 企画: YUME ART
- 2004 Three Solo Exhibition/Singapore Tyler Print Institute (シンガポール)
- 2003 新宿伊勢丹 アートギャラリー
- 2002 名古屋三越 美術サロン  
大阪梅田阪急 美術サロン  
新宿伊勢丹 アートギャラリー

### グループ展

- 2019 ANDO SESSION12 -square- ギャラリーエ・アンドウ (東京)  
「表面」/ ギャラリー檜 (東京)  
“Another day in the Park” Gallery 慳 SATORU (東京)
- 2018 ANDO SESSION-8「フレキシブルアート」ギャラリーエ・アンドウ(東京)
- 2017 “Thoughts through Drawings-紙の上の思考” POINT Gallery 慳 SATORU (東京)
- 2016 ANDO SESSION-8 ギャラリーエ・アンドウ (東京)
- 2015 二人展/ ギャラリーエ・アンドウ (東京)
- 2014 ANDO SESSION-7 ギャラリーエ・アンドウ (東京)
- 2013 ambient / YOYOGI ART GALLERY (東京)
- 2011 ハートランド・ピエンナーレ セレクト作品展 Concept Bar HEARTLAND (東京)
- 2005 武蔵野市美術大賞展
- 2003 ハートランド 軽井沢ドローイング・ピエンナーレ 2003  
軽井沢脇田美術館 (長野)

### 受賞

- 2003 ハートランド 軽井沢 ドローイング・ピエンナーレ 2003
- 2005 武蔵野市美術大賞

### パブリック・コレクション

脇田美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館

## 好宮佐知子 Sachiko Yoshimiya

車窓から見る景色のように、日々も流れ移り変わります。移り変わってゆく自然の世界は毎年同じ時期に同じように芽吹き、変わるけれど変わらない時が流れてゆきます。



「流れる風景・夏(8月)」

フレスコ

径 95mm

2019年

### 【略歴】

1977 東京生まれ

2006 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻(壁画)修了

2009 女子美術大学短期大学部非常勤助手

2015~2018 東京藝術大学非常勤講師

2017~2019 愛知県立芸術大学非常勤講師

### 個展

2002 SPICA MUSEUM 東京

2003 ギャラリーGAN 東京(04)

ギャラリー椿 GT2 東京

2006 Gallery 惺 SATORU 東京(08,11,16,20)

2007 ウィリアム モリス 東京(13)

2008 工房 親 東京 / 画廊 Full Moon 新潟

2009 MAXVIN 東京 / ギャラリーゴトウ 東京(10,12)

イタリア料理 coccineLLA 東京

2012 Ristorante CORTESIA 東京

Restaurant かえりやま 東京

Kaede Gallery + full moon 新潟(15,17)

2019 さんしんギャラリー善 静岡

### 主なループ展

2001 「台東区コレクション展」 東京藝術大学大学美術館

2002 「カフェ・イン・水戸」赤池 孝彦+アート・ランダムス  
旧ユニデパート壁画制作 水戸芸術館 茨城

2003 「第5回熊谷守一大賞展」アートピア付知交芸プラザ岐阜

2004 「VOCA展2004」上野の森美術館

2007 「The Asian Spirit & Soul」Seongnam Art Center 韓国

「YOKOHAMA みなとみらい展」 横浜市民ギャラリー

「Shanghai Art Fair」(NICHE GALLERY) Shanghai MART 中国

「Shanghai Art Fair Emerging Artists Exhibition」

(NICHE GALLERY)(10) ShanghaiMART 中国

2008 「ART OSAKA 2008」(工房親) 堂島ホテル 大阪

「群馬青年ビエンナーレ2008」群馬県立近代美術館

2011 「Affordable Art Fair」(Peng Gallery) 7 West New York, USA

「フレスコ展」美術家連盟画廊 東京(13,15,17,19)

2014 「MITSUKOSHI x 東京藝術大学 夏の芸術祭2014 次代を担う若手  
作家作品展」三越日本橋本店 東京

2015 「So as to enclose」上野ステーションギャラリー 東京

2016 「さまざまな形、さまざまな色」工房親 東京(18、19、20)

2019 「OPEN & STOW 絵巻」Gallery 惺 SATORU 東京

### 賞歴

2001 卒業制作台東区長賞 東京藝術大学O氏記念賞

2003 第8回ADSP 資生堂

2007 Shanghai Art Fair Emerging Artists Exhibition Shanghai MART  
中国 特別賞

2009 第8回現代日本美術会 奨励賞

2011 第10回現代日本美術会 大賞

2005-2006 イタリア世界遺産ガッラ・プラチディア廟モザイクの保存  
と現地修復活動への参加

2020 「水彩で描く 風景画の世界を旅する講座」静岡県立美術館

パブリックコレクション 台東区 東京

## 川村紗耶佳 *Sayaka Kawamura*



「me time IX」  
水性木版画  
200×160mm  
ed.20  
2021



「me time VII」  
水性木版画  
200×160mm  
ed.20  
2021

言葉にしてしまうと、大して記憶に残らない光景が、頭の中にいくつも残っている。そのいくつもの記憶の断片を拾いあげ、繋げながら形を探しだしていく。そして、その探しだしてきた形を和紙に刷り取っていくうちに、もうひとつの私なりの風景が広がっていく。

### 【略歴】

1989年 北海道札幌市生まれ  
2013年 京都精華大学メディア造形学科版画コース 卒業  
2015年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻版画科 修了  
2017年～日本版画協会 準会員

### 個展

2017年 養清堂画廊、東京  
2017年 アートギャラリーミュージズ、群馬  
2018年 Gallery 慳 SATORU、東京  
ギャラリー恵風、京都  
2019年 養清堂画廊、東京  
2020年 ギャラリー恵風、京都  
Gallery 慳 SATORU、東京  
ODD ONE OUT、香港

### 受賞

2013年 第19回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞 審査委員特別賞  
2014年 第13回南島原市セミナーヨ現代版画展 南島原市議会議長賞  
2014年 第20回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞 準大賞  
2014年 第9回高知国際版画トリエンナーレ 佳作賞  
2014年 全国大学版画展 収蔵賞  
2015年 第14回南島原市セミナーヨ現代版画展 南島原市商工会賞  
2015年 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ2015 審査員賞  
2015年 アワガミニニ国際プリント展2015 藤森 實 賞  
2017年 第23回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞 大賞  
2017年 第10回高知国際版画トリエンナーレ 土佐和紙賞  
2018年 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ2018 美術館賞  
2020年 第11回高知国際版画トリエンナーレ 大賞

### 収蔵

多摩美術大学、多摩美術大学美術館、町田国際版画美術館、  
鹿沼市立川上澄生美術館、上海半島美術館



「ヤヌスの扉」

ファストファッションブランドの服、ポリエステル糸  
ニードルワーク

H80 × W25cm

2020年

ヤヌスは、イタリアの神。  
前と後ろ、左と右に顔を持つ神。  
出入り口の神。  
一年の終わりと始まりの境にいる神。  
1月を司る神。  
過去と未来の間に立つ神。  
内と外を同時に見る神。

#### 【略歴】

1977 神戸市生まれ  
2000 大阪芸術大学 工芸学科 テキスタイルデザインコース卒業  
2002 大阪芸術大学大学院 芸術制作研究科 表現領域 (染織) 修士課程修了  
2004-006 大阪芸術大学大学院 非常勤助手  
2006-008 芦屋市立打出浜小学校常勤講師 (図工専科)  
2009- こども造形教室 ふたご山図工室主宰  
2017- 武庫川女子大学 生活美学研究所 教務助手  
2020- 武庫川女子大学 非常勤講師  
京都芸術大学 通信教育部 非常勤講師

#### 【個展】

2019 「時計草のしごと」 Gallery SATORU / 東京  
2018 「ベガは豎琴を聴く」 Amuse museum / 東京  
「Trans-」 ギャラリーみやがわ / 京都  
2017 「金魚のふん」 Gallery Gallery / 京都  
「ファッションデザイナーになりたい」 アート 美空間 Saga / 神戸  
2016 「王さまとカテドラル」 Gallery SATORU / 東京  
「幕、きれば」 祇をん小西 / 京都  
2015 「ナイトダイバー」 ガリヤルダガランテ / 京都  
2014 「星屑のエレジー」 Gallery 恵風 / 京都  
2013 「スターライトが消える場所」 Gallery Gallery / 京都  
2012 「君のポエムが聞こえる」 Gallery SATORU / 東京  
「ほうき星、あらわる」 LIXIL Gallery / 東京  
2010 “GIRLY” Gallery Gallery / 京都  
2009 “GIRLY” GALLERY SOL / 東京  
2008 “GIRLY” 千疋屋ギャラリー / 東京  
2007 ギャラリーHIGUCHI / 福岡  
“GIRLY” ギャラリー白 / 大阪  
2006 AOAO 天窓ギャラリー / 京都  
“DOT/CHECK” ギャラリーTENTEN / 神戸  
2005 “Convert A to Z” 千疋屋ギャラリー / 東京  
2004 “Love the Material V” Pepper's Gallery / 東京  
ギャラリー北野坂 / 神戸

#### 【受賞】

2011 清州国際工芸ビエンナーレ 入選 / 清州、韓国  
2010 6th International Fiber Art Biennale 優秀賞 / 中国 (08,04)  
2000 大阪芸術大学卒業制作 研究室賞

この他、国内外のファイバーアート、テキスタイル企画展、ビエンナーレ、グループ等に多数参加。

## 石川あすか *Asuka Ishikawa*



「Fragments of journey」  
ガラス、キルンワーク  
H20 × W225 × D225mm  
2020年

白鳥が旅の途中で羽を休め、花を眺めている...そんな景色を想像し、絵皿にしました。

新しい年は、気持ちも軽く自由に旅ができますように。

### 【略歴】

日本大学芸術学部演劇学科を卒業後、東京ガラス工芸研究所でガラスを学ぶ。

ガラス工房 (Art・Glass・Club) でのアシスタントを経て、現在に至る。ガラスの多彩な表情に魅了され、主に電気炉を使った技法 (キルンワーク) で制作しています。

### 近年の展覧会

2020年 「涼やかな光 石川 あすか 松村 淳 ガラス二人展」  
(art space morgenrot / 東京)

2018年 「雛祭展」 ( グラスギャラリー KARANIS / 東京 )  
個展「石川あすかガラス展 MOMENT」  
( グラスギャラリー KARANIS / 東京 )

2017年 「はる雛花祭り」 ( グラスギャラリー-KARANIS / 東京 )  
「陶・木と金属・ガラスそれぞれの世界」  
( Galleria Tokino-Shizuku / 東京 )

「旅する」 ( Gallery 惺 SATORU / 東京 )

2016年 個展「石川あすかガラス展\* LIFE 」  
( グラスギャラリー-KARANIS / 東京 )

「Bird Watching vol.3 」 ( Gallery+Shop Loquat / 神奈川 )

「花とガラス」 ( グラスギャラリー-KARANIS / 東京 )

「春の芽吹き 女流作家 三人展」 ( 日本橋高島屋 / 東京 )

「酒づきてん」 ( グラスギャラリー-KARANIS / 東京 )

## small tour 展示作品リスト

No	作家名	作品タイトル	素材技法	サイズ (cm)	制作年
1	門馬達雄	もりになりたかったき	monotype/lithographic ink, pastel	30×30	2020
2	川村紗耶佳	me time VII	水性木版画	20×16	2021
3	平埜佐絵子	暮れ a ending	oil on canvas	19.0×27.3	2020
4	平埜佐絵子	明け a beginning	oil on canvas	19.0×27.3	2020
5	渡辺伸	-車窓- ツウリバーの夕日 宮古島にて	oil on cotton	30×30×4	2014-2020
6	渡辺伸	晴耕雨読	oil on canvas	27.3×22.0	2020
7	黒須信雄	蛇菩薩 No.11	acrylic on canvas	33.3×22.0	2020
8	黒須信雄	於母蛇流 No.11	acrylic on canvas	27.3×22.0	2020
9	藤田修	Exodus・01	油彩によるモノタイプ 雁皮刷り	29.0×20.5	2020
10	藤田修	Exodus・02	油彩によるモノタイプ 雁皮刷り	29.0×20.5	2020
11	藤田修	Exodus・03	油彩によるモノタイプ	29.0×20.5	2020
12	藤田修	Exodus・04	油彩によるモノタイプ	29.0×20.5	2020
13	藤田修	Exodus・05	油彩によるモノタイプ	29.0×20.5	2020
14	佐藤春菜	小さな写真展	ゼラチンシルバープリント	1.7×2.6	2020
15	佐藤春菜	小さな写真展	ゼラチンシルバープリント	9×1.3	2020
16	佐藤春菜	小さな写真展 (マッチ箱小)	ゼラチンシルバープリント		2020
17	佐藤春菜	小さな写真展 (マッチ箱大)	ゼラチンシルバープリント		2020
18	山神悦子	GEOLOGY -letter from the earth-	木版画	11×16 / 16×11	2020
19	花村泰江	jungle gym 2020	銅版画 (ヘイター法)	18.2×17.7	2020
20	岡田浩志	高尾の森にて (S2-f1.4_'20,7,5)	カリタイププリント、 セレン調色 アルシュ紙	12.9×19.5	2021
21	岡田浩志	残花 (Pent-R50_'20,2)	カリタイププリント、 金調色、アルシュ紙	6.8×4.5	2021
22	岡田浩志	草茂み (Ikonta_'20,1)	カリタイププリント、 セレン調色、アルシュ紙	12.6×12.6	2021
23	好宮佐知子	流れる風景・夏 (8月)	fresco	径 9.5	2019
24	川村紗耶佳	me time IX	水性木版画	20×16	2021
25	酒井稚恵	ヤヌスの扉	ファストファッションブランドの服 ポリエステル糸 ニードルワーク	H80×W25	2020
26	石川あすか	Fragments of journey	ガラス、キルンワーク	H2×W22.5×D22.5	2020
27	門馬達雄	だいちになるき	monotype/lithographic ink,pastel	30×30	2020
28	門馬達雄	りずむになるき	monotype/lithographic ink,pastel	30×30	2020



Gallery 榎 SATORU

180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-2-6-B1F

<http://galleriesatoru.stores.jp>



online shop